

ハワイの「琉球盆踊り」に関する新聞記事

— 1926～1940年 —

栗山新也

本稿は、筆者が2010年2月3日から同月24日にかけてハワイ大学マノア校・ハミルトンライブラリーで実施した新聞資料調査の成果の一部である。本調査は、ハワイにおける沖縄芸能史の基礎資料の収集を目的としたもので、戦前に発行されたハワイの邦字新聞『日布時事』及び『布哇報知』から沖縄芸能関係記事を抽出し、その翻刻と整理を行った。このうち対象を「琉球盆踊り」に限り、関係記事を年次ごとにまとめたのが本稿である。「琉球盆踊り」とは、現在「オキナワン・ボン・ダンス」と呼ばれる芸能の当時の呼称である。

戦前のハワイの沖縄移民に関する新聞資料はすでに比嘉武信のもとに研究が進められ、新聞資料集成『新聞に見るハワイの沖縄人90年—戦前編』（若夏社、1990年）が出版されている。本書には沖縄芸能に関わる記事も多く収録されているが、自序に「1900年正月にハワイの土を踏んだ沖縄移民の足跡を、日布時事（日布）ハワイ報知（報知）その他の新聞雑誌から採録し何遍も何遍も切り捨て、残ったのがこの新聞集成です」¹とあるように収録を逃した記事も多く、また紙幅の都合で本文が省略されている記事もみられる。これらを踏まえて本調査は、新たな新聞資料の発掘と、すでに比嘉が紹介している新聞記事の再資料化を試みたものである。「琉球盆踊り」関係記事を整理した本稿は、1920年代から30年代にかけて沖縄芸能が地域的な広がりをもって展開する中で、エイサーが新たにどのような様態や場を獲得していったか、またさらにそれを媒介として人々がどのような集団性を生成していったかなど知るうえで重要な手がかりとなるだろう。

本調査で新聞記事の収集にあたった『日布時事』と『布哇報知』は、戦前のハワイにおける二大日刊邦字新聞である。両紙の発行部数は、『日布時事』が大正末頃に一万部を越えたとされ、時期は不明だがこれに次いで『布哇報知』も一万部を越えたとされる。

『日布時事』は1895年10月15日、安野伸太郎が『やまと新聞』という紙名でホ

ノルル市ヌアヌ街ククキレーン角の同社から発行したのが始まりである。1906年11月3日より『日布時事』と改題し、この紙名で1941年12月7日まで発行された。戦争とともにしばらく休刊していた同紙は、翌42年に『布哇タイムス』として復刊され、廃刊となる1982年5月まで発行された。

『布哇報知』は1912年12月7日、牧野金三郎が日本移民の権利擁護のためノルルのマウナケア街ケカウリケ角の同社から発行したのが始まりである。同紙は戦時中も中断せずに発行され、1972年5月に『ハワイ報知』と改題し、現在も発行を続けている²。

資料収集の方法については次のとおりである。2010年2月3日から同月24日にかけてハワイ大学マノア校・ハミルトンライブラリーを訪問し、マイクロフィルム化された『日布時事』と『布哇報知』を閲覧した。比嘉太郎編著『移民は生きる』（日米時報社、1974年）によれば、ハワイでの最初の「琉球盆踊り」は1910年にカウアイ島のケカハ耕地で行われたとされており³、対象時期は1910年以降とした。各年7月から9月までの新聞記事に絞って閲覧し、調査期間内に1940年まで閲覧することができた。調査の結果、1910年から1925年にかけて「琉球盆踊り」に関する新聞記事は発見されなかった。マイクロフィルムから抽出した1926年以降の新聞記事はプリントアウトし、見出しと本文を翻刻した。

【付記】本調査はグローバル COE プログラム「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」2009年度大学院生調査研究助成（第二次）の成果の一部である。ここに記して謝意を申し上げる。

【凡例】

- 一、旧漢字・旧仮名遣いは原則、新漢字・新仮名遣いに改めた。
- 一、一部の漢字（有る、居るなど）は平仮名に改めた。
- 一、改行は「／」と表記した。
- 一、判読不可能な文字は「■」と表記した。
- 一、縮刷版をマイクロフィルム化しているため、見開きの中央部分の文字が欠落している記事があった。こうした箇所については「【一行欠落】」と表記した。
- 一、広告については見出しの前に「【広告】」と表記した。

1926年

「ワイパフ^マ 耕地沖繩県人の盆踊り」『布哇報知』1926年8月7日4頁

本島ワイパフ耕地就働の沖繩県人有志主催の下に本月二十一日午後五時よりワイパフ墓地に於て追悼会を勤修し同午後七時より翌日二十二日の両日に亘り沖繩固有の盆踊を挙行すべく毎晩午後七時より百五十名以上の青年少女が熱心に稽古中なりしが一兩日前よりはエワ、アイエア、鳳梨耕地在住の同県人青年集合し来り二百名以上の踊子を有し未曾有の盛況を呈しいれりと

「珍しい琉球盆踊り／来るサンデー／布哇仏教会で」『日布時事』1926年8月17日2頁

マウナケア街布哇仏教会では来る二十一日、二十二日の両夜に亘り孟蘭盆法要を勤修し引続き琉球盆踊りの方は毎晩稽古ありて見物人で人山を築いている。琉球盆踊りはホノルルで初めてでその特色は踊りの種類が沢山あつて変化に富み観衆を飽かさぬ点で、又琉球独特の獅子舞いもあると

「ワイパフ本願寺」『布哇報知』1926年8月20日3頁

ワイパフ本願寺にては明二十一日と二十二日（日曜）の両日に亘り盆法会を執行するが両夜とも布教場庭内にて沖繩県人有志主催の琉球踊の催しがある。両日のプログラム左の如し

▲二十一日（土曜）

午後六時より一般墓参／沖繩県人有志主催の先亡者依養会（新墓地にて）／午後八時より琉球盆踊

▲二十一日（日曜）

午前八時半より日曜学校／午後一時より初盆供養と説教／同六時より先亡追弔供養と説教／同八時より琉球盆踊／尚両夜とも別院より青木開教使出張

「電車日誌／盆踊り趣意書／隠れたる画伯」『布哇報知』1926年8月21日4頁

▲今年は何の当り年やら琉球盆踊の大流行とある。ワイパフ本願寺では盆法会の余興に今明の両夜その盆踊が催されるそうだが、それに就て同布教所の原田開教使「盆踊に就て」と題してプログラムの中に趣意書を發表している

▲盆踊の趣意書と云うのはこれが初めてである。而して盆踊を宗教的にやれと云っている。それならアリャナーこりゃナンマイダとやれば尤も理想的だ

▲その中に琉球盆踊の音頭「親の教訓」と云う一節をこう訳してある

南無阿弥陀佛／五つの年に別れし親を／七つの年より慕い出し／国々諸所を
尋ね歩けと／親に似し人更になく／泣く泣く歩みを運ぶ中／順中御主前に巡
り会い／切なる願を聞きゆれば【中略】

「ワイパフ本願寺／盂蘭盆今明両日」『日布時事』1926年8月21日4頁

ワイパフ本願寺では本日と明日盂蘭盆会を執行すべく別院より青木開教師出張
し両夜共午後八時より沖縄県人有志の琉球盆踊りを催す由

「ワイパフ本願寺」『布哇報知』1926年8月22日3頁

昼夜に亘り盆法要、夜は琉球盆踊りを催す

「盆踊りの大流行」『日布時事』1926年8月25日4頁

本年は又如何なる廻り年にや近年になき加哇に於ける盆踊り先づ去る七月八日
のマカウイリ青年団主催の岩国踊を皮切りとして去る二十一日二十二日にはエレ
エレ、コロア、の両青年団の琉球踊り岩国踊りを両夜に亘り挙行されたが両所共
皆音頭取り踊り子見物人にて西はマナから東はケアリヤ方面より押寄せると云う
大盛況であった

1927年

「ワイパフ琉球踊」『布哇報知』1927年8月12日4頁

ワイパフ沖縄県人有志主催にて明十三日〔土曜〕午後八時半から同所本願寺境
内で琉球踊りを催すことになった。なお同日は午後六時半よりワイパフ新墓地に
於て無縁亡者のため追悼会を営む筈であるから多数の参拝を望むと

【広告】『布哇報知』1927年9月2日4頁

エワ新ハウス／盆踊り（琉球盆踊）／九月三日、四日の二日間晩挙行致します
／エワ新ハウス／沖縄県人一同／▲飛入り琉球唐手の余興も有之候間かなり多勢
の御参加を願います

【広告】『日布時事』1927年9月2日5頁

琉球大盆踊▲九月三日、四日両夜【サタデー、サンデー】／▲エワ新ハウスに
於て開催／▲飛入琉球武士道唐手／▲多数人士の御来観を待入候／主催 エワ沖
縄県人一同

【広告】『布哇報知』1927年9月3日4頁

『布哇報知』1927年9月2日4頁と同記事

【広告】『布哇報知』1927年9月4日4頁
『布哇報知』1927年9月2日4頁と同記事

1928年

「特有の盆踊／満天美勇に於て」『布哇報知』1928年8月10日5頁

もうぼつぼつ盆が来るので本年も到る処で盆踊の稽古が始められているが布哇島オーラア耕地では本年は特に沖縄県人に依り沖縄県特有の踊を入れて来る二十八日夜満天美勇で盛大な盆踊をすると云うので大評判である

1929年

「沖縄盆踊盛況」『日布時事』1929年7月27日5頁

去る十三日及び十四日の両夜ワヒアワ本願寺に於て開催した沖縄盆踊は既報の如く非常【一行欠落】催者は諸雑費を差し引いた剰余金百弗をワヒアワ本願寺へ寄付し又別に電燈代としてワヒアワ仏青へ十五弗を寄付しれなお右両夜の催しにワヒアワ仏教青年会は売店を開いた処純益六十六弗九十九仙を挙げたが同売店を開くためワヒアワ地方の商店では特に売店を出さず仏青のため種々斡旋したので上記の利益を挙げ得た事を仏青幹部は感謝している

「沖縄県人盆踊り／ワイパフに於て」『日布時事』1929年8月8日2頁

ワイパフ沖縄県人有志者は同県人先亡者の追弔法会を来る十七日新墓地にて営み余興として本願寺境内に於て十七、十八両日に亘り沖縄盆踊を催すべく目下セメント橋下側の広場に於て三百人以上の男女が熱心に稽古中なれば当日の賑やかさは先年に倍との噂専らである

1930年

「沖縄県人会主催／琉球踊の催／二千人の見物」『布哇報知』1930年7月18日5頁

【ヒロ支社発信】パウイロ本願寺では十七日夜同地方沖縄県人会主催で琉球踊の催しがあったが、右は同地の米満、川本夫人、齋藤、徳本、立野、比嘉諸家の追善供養の為に催されたものであった。最初比嘉氏宅に於て子息武松君の霊前に於て琉球踊り、本願寺に赴き同寺では上原開教使読経、荒木開教師の説教あり、八時頃パウイロ沖縄県人会会長比嘉武士太氏の挨拶あり、九時頃より愈踊が始ま

り、百三十人からの踊子は各々目醒むる許の花衣装を着け音頭につれ踊ったが来観者は二千人に達し未曾有の盛況を呈し外人側ではパウイロ耕主夫妻等が珍しげに踊に見入っていた。踊りの終ったのは翌朝一時頃であった。十三日午前本願寺前に於て踊り子の記念撮影を行った。今回の踊には上山三郎氏が振付けとして始終努力した

「ワヒアワ琉球踊」『布哇報知』1930年7月21日4頁

ワヒアワ地方沖繩県人主催の下に来る二十六二十七の両晩同地禅宗寺境内において琉球盆踊を行うよし、なおラウイステブル沖繩県人は十九二十日の両晩同キャンプにおいて琉球盆踊りを行う

「ワイパフの岩国おどり／土曜晩から翌朝迄」『日布時事』1930年8月7日3頁

来る十六日サタデー仏教青年会員の主催で施餓鬼、盆おどりがあるが昨年は沖繩踊で人気を集め今年は久しぶりに岩国おどりがある。例年サタデー、サンデー両夜行ったが本年はサタデー一晩だけなので夕刻から始めて翌朝まで踊りつづける筈なれば定めし盛況を呈するであろう

「ワイパフの岩国おどり／岩国地方有志主催で／16日晚本願寺庭で」『日布時事』1930年8月13日3頁

仏事年中行事の主なる盂蘭盆に当り亡父母乃至七世の祖先を憶想し且つ有縁無縁の亡霊を慰める為め来る十六日夕方よりワイパフ本願寺ヤードにて岩国地方有志が主催となり仏青会員、沖繩県人有志その有志者の後援の下に盛大なる岩国踊を催す由なるが去るマンデー晩より毎晩太鼓の音も勇ましく練習しているが未知の踊子には親切に教えているので多数の踊子が集まりその前景気は大したものワイパフに於ける岩国おどりは久しぶりの事とて大いに賑う事であろう

「盆踊の服装取締」『布哇報知』1930年9月3日4頁

コロア地方沖繩県人主催の沖繩盆踊りが来る六日七日の両晩コロア館府広場に開催されること、既報の通りであるが踊り場の秩序を保ち郷土芸術の典雅を犯されざる■踊り子の服装について嚴重なる取締を行いシャツ、パンツのまままで割込むなど絶対に謝絶する由。

「琉球盆踊りの代りに宗教宣伝／『無勇華』を上演」『日布時事』1932年8月12日3頁

ワイパフ沖繩県人館府有志は本年の琉球盆踊のかわりとして盆供養と宗教宣伝

のため来る十四日サンデー午後七時半よりワイパフ本願寺ヤードに於て宗教映画「無勇華」を上映する由なるが入場無料一般に公開する筈なれば多数の来観を希望するという

「パイア臨済宗盆踊り盛況」『日布時事』1932年8月16日4頁

既報の如くパイア臨済宗寺院の開堂式は予定の如く十三、四日の両夜に亘って厳修された両夜の呼物は琉球盆踊りで中央に大ステージを設けて琉球音楽と西洋音楽とを交え五百余名の全馬哇地方を網羅する踊子は三重、五重の大円陣を画がき中天には皎々たる月光を浴び、場内は昼を欺く無数の電燈は照り流るる楽の音につれて秩序整然と踊る有様は実に美と云わん麗と云わんやであった。一しきり踊った後はステージに於て琉球手踊り数番あり観衆を喜ばした。一方本堂内に於ては信者によって鈴の音も冴えて絶たず御詠歌を誦じていた。実に盆踊りとしては空前の人出で又整然たる事役員諸氏の十二分の注意を存する所が認められたサンデー夜も前夜に劣らぬ大盛況であった。

「球陽青年会主催の沖縄盆踊り」『布哇報知』1932年8月17日7頁

コロア球陽青年会主催の沖縄盆踊は来る二十日二十一日の両晩コロア運動場で举行されるが加哇島における本年の沖縄盆踊は恐らくコロアだけらしいので定めて盛況を呈するであろう

1933年

「琉球盆踊り／八月中旬開催」『日布時事』1933年7月5日7頁

市内マウナケア街布哇仏教会にてはその年中行事の一とし盆踊は一種独特のものとして有名であるが、何分にも場所が狭い為め多数の来会者に満足を与えることが出来ないのを遺憾に思っていたが、幸いにして本年はお隣のスマス公園を借用することを許されたので来る八月十二日（土曜）、十三日（日曜）の両夜に亘り大々的に催すべく意気込んでいる。そして今晚その準備の相談会を催す由

「琉球盆踊り／オリンピックグリル主催」『布哇報知』1933年7月15日2頁

湧川勝雄氏が昨年十二月開業したアラモアナ・ロード移民局前のオリンピック・グリルは非常な好評で大繁昌し益発展しつつあるが、そのお礼の顧客奉仕の意味で、来る十八日（火曜）十九日（木曜）の両夜八時から同グリル隣の空地に於て琉球盆踊を催す事になったから一般の来観を希望すと

「ワイパフの琉球盆踊り／八月二十六、二十七両夜／本願寺庭で」『布哇報知』
1933年7月22日6頁

この二三年休んでいたワイパフの琉球盆踊は今年は各方面よりの切なる希望に依り、先般世話人協議の結果来る八月二十六、七日の両晩催す事に決まり愈来る二十二日（土曜日）の晩より稽古を始める事になった。ワイパフは人口の多い関係上毎年盆踊は盛んに行われるが今年の琉球盆踊は久し振りの事だし、又師匠も楽隊も十二分に手揃いなので定めて盛況を呈する事と予像されている。なお世話人は盆踊を改良浄化させる意気込みから色々研究を続け歌詞や踊の選択に注意を払い而して成る可く多くの人々に開放したい為め稽古日数も十二分にとってあれば一般同好者は素人でも遠慮なく稽古されたしと

【広告】『日布時事』1933年7月23日2頁

愈々今晚限り／とても面白い愉快的な盆踊／第一回 午後七時～ 岩国踊／第二回新潟踊／第三回 琉球踊 以上終了後飛入勝手／入場料 大人廿五仙 子供…五仙／昨晚大人気／大入大盛況／アリヤサー／コリヤ／ドッコイトナー

「昨夜の盆踊大会／未曾有の大盛観／入場者八千名を越ゆ／三組の競演の後に大衆踊りあり／千数百名の男女が深更まで踊る」『日布時事』1933年7月23日3頁

当地における最初の試みである河合大洋発企の盆踊競演大会は昨夜カパラマのハウストン・アリナ拳闘場に於いて催されたが圧倒的の大人気に投げ場内の席は一つの空席もなく文字通りの満員、入場者は正味八千名、恐らくハウストン・アリナ始まって以来の大盛観を呈した。最初に会場ワイキキ側の入口からバンドを先頭に岩国踊、新潟踊、琉球踊の旗を押し立てそれぞれの踊り子が順次に縦列を作って入場、会場を二巡した後七時四十五分から先ず岩国踊が開始された。岩国踊りはデシヤレーン組を主として踊り子の人数百三十余名、各組の踊り子中最大多数を示し、踊り子全部七歳位から二十歳前後までの娘を華やかな日本着に美装させて勢揃いさせ異彩を放った。岩国踊りには音頭と太鼓が聞き物で音頭は安珍清姫（村上）地雷也（松村）爆弾三勇士（片原）の順序で十五分づつ唄われ大太鼓は五人により代る代る叩かれた。アリヤサ、コーリヤ、ドッコイトナの合唱は踊り子により間隔を置いて発せられ大観衆は音頭、太鼓踊りの三拍子の合奏に先ず魅了された。四十五分で岩国踊りが済んでから次ぎは新潟踊りが開始された。新潟踊はワイパフ組が主でこの踊りは踊子の装束に於て異彩を放ち花笠をかむった婦

人、真紅の日本着の踊子など著しく人目を惹いた。新潟踊りは岩国踊りのような古典的な纏まった音頭はなく音頭は主として端唄の類であった。この踊りは音頭と小太鼓と笛の三つに連れて踊るもので一寸舞神楽を連想せしむるものあり、その昔天の岩戸の前で行われたカグラもかくやと思われる程陽気なものであった。新潟踊は三十分で終り三番目には琉球踊が開始された。琉球踊には踊りの前に獅子舞いが行われたが中央舞台の上で踊る獅子のシグサ、頭をふり尻をふる滑稽な動作に満場の観衆は腹を抱えされ通して哄笑は絶え間がなかった。当夜全観衆を最も喜ばしたのはこの獅子舞いであつたらう。十分ばかりで獅子舞いが済んだ後愈々当夜の呼び物琉球踊は開始されたがこの踊りは三味線、太鼓、スチール・ギター、横笛、ヴァイオリン等のオーケストラに連れて踊るもので最も複雑な盆踊であった。踊子の数も百数十名、七歳位から妙齡迄の女子のみならず男女に拘らず踊り子は全部紅白の旗二本と扇子二つを用意しこれを各種の踊に使用した。琉球踊は十八種あるが当夜は約十種が踊られた。練習が積んでいると見え踊り子全部の動作が揃って頗る見事、観衆は何れも恍惚状態に引き入れられた。琉球踊りが終つたのは十時に十分前からでそれから以後は大衆おどりとして三十分づつ岩国踊、新潟踊、琉球踊等音頭と囃方につれて観衆がグラウンドにおいて踊り舞つたが音頭と太鼓の音につれておどるもの無慮千数百、中央の舞台を周囲に十重二十重の輪を描いて大衆が【一行欠落】られなかった盛観であった。かくて昨夜の盆踊競演大会は十一時半過閉会を告げた

「大盛況の盆踊り」『布哇報知』1933年7月23日7頁

ラハイナ浄土宗教会にては去る十三四両夜盆法要を執行し余興に十三日晚は東北踊、十四日晚は沖縄踊を挙行し又レールの野原隆氏宅の厳父初盆供養の岩国踊等何れも大盛況であった

「盆踊大会の審査／琉球踊は特別賞／新潟踊と岩国踊は甲乙なしと認め共に一等賞」『布哇報知』1933年7月25日3頁

河合太洋君主催でハウストンアリナ拳闘場に於いてなされた盆踊競演大会は布哇未曾有の大盛況裡に終了して各団体踊の等級に付き昨日午後二時より審査委員会を開き慎重審査を行いしが何分各県の盆踊にはそれぞれ郷土の特徴を含む処が異っており岩国踊は音頭と太鼓とが名物であり踊の方もおとなしいのが特徴である。新潟踊りは囃の賑やかな事が名物であり踊りも芸術味たっぷりて他県の盆踊りに

譲らず又琉球踊りは琉球踊りで暖国の濃厚な郷土情緒を現し盆踊りその物としては甲乙の区別が付けられず、為に審査員会は昨夜十時迄議を続け結果多種多様で而もよく統一が取れ技が洗練されて最も観客から好評を博した点に於て琉球踊を特等とし岩国踊りと新潟踊りの審査に入りしも一長一短で兄たり難く弟たり難きものあり、論は夜半になるも尽きず軍扇の揚げ様なく結局両方共一等にする事に決定した。この度の審査に就ては各審査委員が最も公平に審結した事を列席者一同は非常に喜んでいた。なお主催側の特別余興として追加された仮装踊の懸賞当選者は男子の部ではマキキの君塚氏、二等キング街大村氏、女の部ではヌアヌ街徳重夫人が一等の栄冠を獲得、二等は奥田文子嬢の男装であった。又アロハレーンの山田千枝子嬢とクック街の村中君枝嬢が大衆踊り中の優秀踊り子として特別賞を授与される事になっている

「ワイアナエ／本願寺盆法要」『布哇報知』1933年8月2日7頁

ワイアナエ本願寺では五日六日の両日に亘り盆法要を執行する。同地仏青会員により墓地は綺麗に掃除されている由で法要プログラムは左の如し

▲五日午後六時半墓前にて開教使読経並に追悼法話（両日ともお寺で焼香あり）

▲六日午前八時日曜学校生徒墓参り

五日、六日の両夜とも本願寺境内に於て岩国踊と琉球踊が催されるが特に琉球踊は評判の師匠新門益郎氏が熱心に指導中で踊は十数もある由。なおポールシチー野菜商野上氏は亡母の初盆供養としてワイアナエ本願寺盆会本堂の花全部を寄贈の申込みあり当事者及び重役は感謝していると

「琉球盆踊り／スミス公演で」『布哇報知』1933年8月10日5頁

布哇仏教会の盆踊りは愈明後日に迫り諸般の準備全く成り唯その日の到るを待つのみと成ったが当日は午後七時集合同七時半先亡者供養読経引続き念仏踊りをなし午後八時獅子を先頭に行列を開始し【一行欠落】直ちに盆踊を始める。翌十三日も同じプログラムである。なお踊の稽古は今夜限りで明晩は休む由

「布哇仏教会の琉球盆踊り前人気」『日布時事』1933年8月10日6頁

布哇仏教会の盆踊は愈々明後日に迫り諸般の準備全く成り唯その日の到るのを待つのみとなったが当日は午後七時集合、同七時半先亡者供養、読経、引続き念仏踊をなし午後八時獅子を先頭に行列を開始し、マウナケア街よりベレタニア街を経てスミス公園に入り、直ちに盆踊を始める。翌十三日も同じプログラムであ

る。なお踊の稽古は今夜限りで明晩は休む由

「琉球盆踊挙行」『日布時事』1933年8月10日7頁

琉球郷土芸術盆踊りは来る十二日（土）晚及び日曜日晩の両夜に亘ってカピア地方沖縄県人有志主催で浄土宗教会境内に於て挙行されるがこの種の催しは始めての事として非常な人気と期待を以て当夜を迎えられている。当夜のプログラムは全部で十四種に分れ飛入として中入にマカウエリ青年会より獅子舞が参加するしなお県人子弟の処女少女連の手踊や青年の陣太鼓がある

「臨濟寺盆会／余興の琉球踊りで大賑い」『布哇報知』1933年8月16日9頁

下パイアの臨濟寺にては去る十二、十三両昼夜に亘りて盆法要を執行したが余興は昨年の通り琉球踊を催したが踊子はパイアを始めワイルク、ラハイナ、カイルア等を加え三百余名に達し観衆また各地より押し寄せ五千名と註され両夜共に大賑わいであった

「共同墓地琉球踊」『布哇報知』1933年8月16日9頁

当島ワイルク日本人共同墓地前にては去る十三日夜ワイルク沖縄県人有志主催にて琉球盆踊が開催されたが最初の事として三千余名の観衆押掛け、非常な出来栄で大賑わいを呈した

「カイルア青年主催盆供養と踊り」『布哇報知』1933年8月16日9頁

旧カイルア日本人墓地は著しく荒廃したので同地青年会が大掃除をなし十九日大々的に盆供養を行う由

▲十九日午後六時墓地で読経七時半より余興琉球盆踊りケアファ組、カヘカ組、パイア組。十時半より東北踊

右の催しはケアファ青年が後援する由

「琉球盆踊団寄付」『布哇報知』1933年9月7日8頁

過日商業組合主催の郷土芸術競演会に一等賞を貰った琉球盆踊の幹部連はその賞金の処分に関し相談の結果金一封宛を日本人養老院と布哇仏教会に寄付し残金を以て慰労ピクニックを行うこととし去る四日の労働祭当日ワイキキ公園に於て盛大なるピクニックを催うした

1934年

「カハウル盆踊」『日布時事』1934年7月20日7頁

裏オアフ、カハルウ在留同胞は来る月末同地日本語学校校庭において琉球踊を催すことになり目下猛烈に練習中である

「ワイアナエ本願寺の盆踊り」『日布時事』1934年7月20日8頁

ワイアナエ本願寺では七月十九日午後九時より仏青会館において盆踊につき協議するため評議員会開催、佐の事項を決議した

一、盆踊りは八月二十五日、六両日に決定

一、八月十一、二両日墓掃除を行うこと

一、前年通り岩国踊り、琉球踊りとす

一、第一日岩国踊り、第二日琉球踊り、但し両日とも余興として東京音頭を盆踊り前一時間行う

「ワイアナエ本願寺盆踊」『布哇報知』1934年7月24日4頁

ワイアナエ本願寺仏青にては去る十九日夜、仏青会館に於て評議員会を開催し協議の結果、八月十一日、十二日の両日墓地掃除を行い同二十五、二十六日の両夜盆踊りを催すべく決定した。前年通り第一夜を岩国踊り第二夜を琉球踊りと定めた但し両夜とも余興として盆踊りの前に東京音踊り（一時間）を入れるそうで同地方では今から期待されている。

「八月の盆踊り」『布哇報知』1934年8月1日4頁

その後決定せる各地の盆踊左の如し

▲ハナペペ体育倶楽部主催八月十一日、十二日両晩ハナペペ公園にて

▲マカウエリ一番青年会主催八月十八日、十九日両晩館府広場にて

▲コロア球陽青年会主催八月二十五、二十六日両晩コロア旧公演にて琉球盆踊

「琉球盆踊連中慰労」『日布時事』1934年8月2日4頁

明三日（金）午後七時半よりオアフ劇場においてハウストン・アリナ及びカリヒ火葬場へ出場した琉球踊連中の慰労映画会を開催するから踊子連中は父兄同伴来観ありたしと

「カイルア盆会」『日布時事』1934年8月9日3頁

去る八月一日カイルア本願寺法務委員会にては法務委員十八名西原氏宅に集会し協議の結果来る二十五日（土）カイルア地方の先亡者の追悼ならびに孟蘭盆法会を本願寺教団主催にて勤修、追悼盆踊として相馬、岩国、琉球音頭ならびに他の音頭も加え盛大に催すこととなった。去る六日よりオニワラ⁵地方にて稽古を

始めた

「スタジアム盆踊出演者／カイクキ組は東京音頭」『布哇報知』1934年8月11日
4頁

ホノルル、スタジアム主催の音頭と踊りの競演大会は来る八月十七日より十九日までの三日間毎晩八時よりホノルルスタジアムに於て開催される筈であるが出場踊子は各団体各々三百五十人以上に達し新調衣装新振付けで今迄と変った新踊を見せる事になっている特に東京音頭、桜音頭、琉球踊等は田ノ上静子、坂井婦人、仲間氏に依り指導されこの外岩国音頭、新潟踊等もあり競演後は大衆踊とする筈であるから誰でも出て踊る事が出来る写真は東京音頭組の少女達で後列中央は指導田ノ上嬢

「日本新民衆踊り競演大会開催／十七、十八、十九三晩／ホノルル・スタジアムで」『日布時事』1934年8月11日7頁

夏の夜は愉悦と納涼百パーセントの日本新民衆踊へ、音楽につれて踊る美少女の群れ……綺麗びくそのあでやかな姿―青芝生の上を踏むステップも軽い新日本民衆踊競演大会が十七日（金）十八日（土）十九日（日）の三晩午後八時よりホノルル・スタジアムに催されることになっており早くも人気を呼んでいる。ホノルル・スタジアムは夜間非常に涼しく踊るにも、見るにも理想的な所である。そこで

東京音頭…田ノ上嬢指導

桜音頭…坂井夫人指導

琉球音頭…仲間氏指導

というホノルルにおける斯界のピカ一組を集めての競演である。優勝組へは優勝盃その他の商品が提供され更に誰でも踊れる一般大衆踊においても上手な踊子に商品が出される。入場料も時節柄勉強して大人二十五仙、子供（十二歳以下）十仙

「ワイカプ盆踊」『布哇報知』1934年8月14日2頁

ワイカプ耕地にては来る十八日の晩先亡者の大追悼会盆法要を行い余興として盆踊りを墓地下側の広場で催す事になったがワイルク地方の青年男女多数参加する模様である

「ケカハ有志会主催琉球盆踊」『布哇報知』1934年8月15日6頁

ケカハ沖縄県人有志会主催の琉球盆踊は来る十八日十九日の両晩ミールマカイの広場に於て開催されるがこの度は新調せる獅子や大太鼓で景気を付けると云えば定めて盛況を呈するであろう

「各地盆踊盛況」『布哇報知』1934年8月20日5頁

ケアリア仏青は十八日晚、マカウエリ青年会は十八日十九日の両晩供養盆踊を主催したが岩国音頭の外に種々の流行音頭を差し加へ、ケカハ沖縄県人会は十八日十九日の両晩琉球盆踊を主催したが本年は新調せる獅子舞や太鼓が披露され、三地方共に踊り子や観衆頗る多く盛況を呈した。次の盆踊り左の如し

◆ハナマウル青年会二十五日晚同地公園にて

◆コロア球陽青年会二十五日二十六日の両晩旧公園にて琉球盆踊

◆ワイメア大谷仏青二十五日二十六日両晩大谷本願寺で

「カイルア盆会／盆踊りも挙行」『日布時事』1934年8月21日4頁

裏オアフ、カイルア本願寺教団主催婦人会青年団の後援で同地方先亡者追悼盆法会は来る八月二十五日（土）午後七時より去年と同所（キャッスルステブル）で特に盆踊は岩国、相馬音頭の外に今年は琉球音頭を加え既に二週間前より盛んに練習中でそのうえ東京、さくら音頭もやることとなった。裏オアフでは最終でも恰度旧七月十六日盆の月に当ることなれば地方各地より賑々しく参詣を希望す。なお墓参会は二十六日（日）午前十一時勤修す。よって24日（金）午前七時より墓掃除にて墓持ちの外有志青年の援助を希望す

「ワイアナエ盆法要と盆踊り」『布哇報知』1934年8月23日4頁

ワイアナエ本願寺にては来る二十五日と二十六日両日に亘り盆法要を執行。別院より松田開教使出張説教の筈であるが二十五日夕刻には墓地読経と講話あり二十日朝八時半より日曜学校生徒及び佛青男女一同は花一枝あて持ち寄って墓参を行う。なお仏青主催にて二十五日夜は東京音頭、鹿児島小原節、岩国音頭、二十六日夜は更に琉球踊りも加え、日本着物で供養盆踊りを催す筈にて、十日前より拡声器を据え付けて每晚稽古中だが両夜とも旧七月十六七日で月夜だから一層の賑わいを期待されている

「盆おどり執行」『日布時事』1934年8月23日5頁

一、両夜とも、例年通り仏青主催

一、二十五日夜 東京音頭、サツマ小原、岩国音頭

一、二十六日晚 東京音頭、サツマ小原、琉球踊の順

一、踊りに注意 供養の精神を忘れず、賑やかな中にも静粛に、且つ秩序を保つため必ず日本着を用うること

一、練習 十日以前より拡声器を据えつけ目下連夜猛練習中

一、月夜 当夜は旧七月十六、七日に相当し、月夜のこと故両晩とも同地空前の盛況を呈することならん

「朗かな音頭につれて／大衆踊の夕べ／愈々今明の両晩／ハウストン・アリナで」
『日布時事』1934年9月1日7頁

永い間待たれていたハウストン・アリナ拳闘場における顧客招待大衆踊の夕は愈々今明（九月一、二日）両夜午後七時より賑やかに開催されるが誰が何といっても夏の夜の楽しみは大衆踊に勝るものはあるまい。真夏の夕べ朗かな唄声に連れて老若男女が浮世の雑念を断って踊り狂う様は大自然の歓楽境を出現しているようである。故国を離れて幾十年、異郷の地に住む第一世達は毎年夏になって盆踊の太鼓の音が響いて来る度毎に若かりし昔日を偲び、嘗ては故郷にある親兄弟や竹馬の友と共に踊り楽しんだ夜のことを思い浮べ、せめてもの心慰みに踊る心境は何や彼と理屈で現わせるものではない。親が踊れば子供も共に踊ってこそ真の楽しみは湧いて来るもので他の人種のように親達や青年男女ばかりが抱合うて踊るダンスなんか余り誉めたものではあるまい。殊に今回催される大衆踊の如きは場内の設備、整理、取締等総べての点において一点の非の打ちところもなくかくの如き理想的大衆踊大会は日本でも珍しい。なお前回の競演会に三百弗の賞金を提供した当市安田商店から今回も亦白米十俵醬油十丁味噌十丁を賞品として寄贈し主催者側から一等五十弗、二等二十五弗、三等十弗四等（三人）五弗づつ各商品券を出し、この外丸帯、絹の紋付、金側腕時計、反物、夏帯等沢山景品を進呈する。これは入場者全部が楽しむもので踊る人も踊らぬ人も共に公平な方法で景品が貰えるのである。なお今晚は特別余興として河合レビュー団員の独唱、ホノルル音楽団の演奏、木本小夜子嬢の独唱等があり、飛入りをも歓迎するとのことである。何分各参加商店から一万枚以上の招待券が提供されているので前回に劣らぬ盛会が予想されており、定刻の混雑を未然に防ぐため午後五時半から入場が出来るよう準備を整えている由で招待券のない人は木戸場で舞踊券を買う事が出来る

1935年

「椰子島東本願寺の琉球音頭」『日布時事』1935年8月2日8頁

椰子島東本願寺では来る十、十一日の両日にわたって盆法要を盛大に執行、余興として古代琉球手踊、古代琉球音頭が催される。なお十一日は婦人会主催のバザーが催される

「ワイパフ本願寺孟蘭盆法要／十、十一両日に亘り慰霊古典琉球踊」『日布時事』1935年8月7日5頁

ワイパフ本願寺の盆会は来る十、十一の両日にわたり勤行されるが一般墓参は十日午後六時、サンデー・スクールの墓参は十一日午前八時半で、法要は十日午後七時、十一日は午後二時と七時よりである。慰霊盆踊は今年は琉球古典踊を催す由にて主催はワイパフ仏教慰霊会である。因に両夜にわたり踊る種目は左の如し獅子舞▲親の御恩▲継親念仏▲綾具踊▲手間当節【一行欠落】節▲天■節▲伊計当節▲取金節▲谷茶前節

1936年

【広告】『布哇報知』1936年8月13日6頁

八月十五日（土）八月十六日（日）両夜／◇毎晩午後七時より開始／基金募集琉球盆踊／特別余興として青年男女の琉球舞踊数番／◆場所……吉里氏ヤードに於て／ワイアラエ、オイリー、ロード山手／主催 ワイアラエ沖縄県人同志会
『布哇報知』1936年8月14日4頁

ワイアラエ沖縄県人同志会の基金募集琉球盆踊りは明晩からオイリー・ロード山手の吉里氏宅のヤードで賑やかに催す（余興もある由）

【広告】『日布時事』1936年8月14日4頁

▲八月十五日（土）▲八月十六日（日）両夜／◇毎晩午後七時より開始／基金募集 琉球盆踊／特別余興として青年男女の琉球舞踊数番／◆場所 ワイアラエ
オイリー・ロード山手吉里氏ヤード／◆ワイアラエ【一行欠落】

「琉球盆踊り」『日布時事』1936年8月14日5頁

アイエア沖縄県人同志会が青年男女指導基金募集のため琉球盆踊を催すことは既報の通りであるが、愈々明十五日を初日に十六日の両夜七時よりオイリー・ロード山手吉里氏ヤードで挙行、特別余興として青年男女の琉球舞踊十数種あり盛況

を期待されている

【広告】『布哇報知』1936年8月14日5頁

『布哇報知』1936年8月13日6頁と同記事

「琉球盆踊今晚」『布哇報知』1936年8月15日3頁

ワイアラエ沖繩県人同志会基金募集の琉球盆踊りは今明両晩に亘りワイアラエ、オイリー・ロード山手吉里氏ヤードに於て毎晩七時から催される。特別余興として青年男女の琉球舞踊数番もある

【広告】『布哇報知』1936年8月19日4頁

御礼／本会主催の下に去る八月十五日、十六日の両夜基金募集琉球盆踊り開催致し候節は過分の金品御寄贈下され誠に有難く実は一々参上御礼申し上げ可きの処取敢えず以紙上厚く御礼申上候／尚両夜共盆踊大会に御参列の踊子連中にも厚く御礼申上候／八月十九日／ワイアラエ沖繩県人同志会／各位

「カイルア本願寺の盆会／来る二十二日／盆踊りもある」『布哇報知』1936年8月20日4頁

裏オアフ、カイルア本願寺布教場では仏教青年会主催カイルア本願寺教団及び仏教婦人会後援の下に来る二十二日（サタデー）午後六時半から盆会を営みワイマナロ本願寺開教師藤井恵証峰開教師の読教並に説教がある。午後七時半から岩国、福島、琉球等の盆踊り催しもあるなお翌二十三日（サンデー）は墓参り日で午後七時半から前夜同様の盆踊り催しがある

1937年

「マカレー東本願寺盆踊りの稽古」『布哇報知』1937年8月5日6頁

マカレー東本願寺盆踊の稽古は去る月曜より毎晩続けて来たが右稽古は今晚限り打ち切り愈来る八日（サンデー）は琉球踊、九日（マンデー）は岩国踊を行うことになっている。踊子はゆかたを着て帯をきちんと締め服装を正しくし見苦しくないようにして踊って貰いたいと主催者側は希望している

「明晩の盆踊り」『日布時事』1937年8月7日7頁

マカレー東本願寺の盆法要及び盆踊りは明晩は琉球踊り、翌日曜晩は岩国踊りが催される

「カハル―青年会の盆踊り」『日布時事』1937年8月9日7頁

本島カハルー青年会では来る二十一日（土）、二十二日（日）は旧盆に相当するので両夜共琉球盆踊りをカハルー日本語学校ヤードで挙行するが、本年は琉球本場で研究して先便帰布した師匠により稽古がつけられているので盛況を期待されており又両夜共各県の踊りも行われる由である

「ワイパフ本願寺盆法要盆踊盛況」『布哇報知』1937年8月17日5頁

ワイパフ本願寺にては既報の通り十四、十五両晩に亘、孟蘭盆会法要を厳修したが奉納琉球盆踊も両夜共行われ学園庭及びペランダは立錐の余地なき観衆にて盛況を極めたが一ヶ月前より稽古を積んだ事とて五六才以上から青少年男女でその洗練された踊り振りは一般より絶賛をあげ、近來稀に見る盛大さであった。

【広告】『布哇報知』1937年8月18日6頁

青年部設立祝賀／琉球盆踊／此度本会内に青年部設立その祝賀の意味で左記の通り琉球盆踊を開催致します。多数の御参集をお願い申します／◆時日 八月二十一日（サタデー）八月二十二日（サンデー）両夜／◆場所 ワイアラエ外間元良氏ヤード／主催 ワイアラエ沖繩県人同志会青年部

「琉球盆踊開催」『日布時事』1937年8月18日8頁

ワイアラエ沖繩県人同志会は今回青年部を設けたのでその記念として来る二十一日（土）二十二日（日）の両晩ワイアラエ外間元良氏ヤードで琉球盆踊を催す「ワイアナエ盆法要と盆踊り」『日布時事』1937年8月18日9頁

ワイアナエ本願寺にては来る八月二十一、二日旧盆、満月を期し盆法要を厳肅に行い両夜共仏青主催にて岩国音頭、琉球音頭、東京音頭、流行音頭（鹿児島オハラ節）を取まぜ賑やかに挙行すべく既に前週より稽古中であるが特に本年はホノルルより有志の音頭クドキ、梶、松本、榊田氏等応援の申入れもあり且つ満月の上に郡部の盆踊りも大部分終了した後ではあり一層の盛況を予想されている

「ワイアナエ盆法要と盆踊り」『布哇報知』1937年8月19日8頁

ワイアナエ本願寺にては来る八月二十一、二日（旧盆の満月）を期し盆法要を厳肅に営み両夜共仏青主催にて岩国音頭、琉球音頭、東京音頭、流行音頭（鹿児島オハラ節）を取混ぜ賑やかに挙行すべく既に前週より稽古中であるが特に本年はホノルルより有志の音頭梶、松本、榊田氏等応援の申入れもあり且つ満月の上に郡部の盆踊りも大部分終了した後だかり一層の盛況を予想されている

「カハルーの琉球盆踊り」『日布時事』1937年8月20日7頁

カハルー青年会主催、先亡供養琉球盆踊りは明二十一日（土）、二十二日（日）の両晩、カハルー日本語学校庭で開催するが、各県踊りも催されるべく、前景気盛んである

1938年

「ワイアナエ本願寺盆法要と盆踊り」『布哇報知』1938年8月4日6頁

当島ワイアナエ本願寺にては来る六日、七日の両日午後六時より先亡一切大衆の盆法要を営み引続き境内に於ける仏青主催の盆踊は岩国音頭、琉球踊、東京音頭、カゴシマ小原、伴でかしたさくら娘、おぼこ桜等盛沢山にて琉球踊はホノル有志の奉仕の指導あり、流行踊の振付けはワイパフ橋立夫人により先週より猛練習中にて当夜の盛況が期待されている。なお仏青にては例年通り先週既に会員総出にて墓地清掃を了し来る七日サンデー朝はサンデー・スクール生徒と共に団体的墓参りを為し無縁供養塔前にて開教使の感話を聴問し盆法要を意義づけることとなっている

「ワイアナエの盆法要と盆踊」『布哇報知』1938年8月4日8頁

本島ワイアナエ同志会にては来る六日と七日の両夜七時よりマカレー本願寺の玉代勢法雲師を招じて盆法要を執行する。なおワイアナエ日系市民青年会主催の盆踊りは右の両夜、旧野球場に於て開催するが、当夜は岩国踊り、琉球踊り、流行踊りの外に新しいススキ踊りもあり前週より稽古中にて盛況が期待されている

「カネオへ盆踊」『布哇報知』1938年8月5日7頁

カネオへ東本願寺に於ては来る六日、七日の両夜七時より本堂にて事変戦没者新盆会を厳修し引続き境内に於ける慰霊盆踊には岩国、福島、琉球各踊等にて昨今毎夜猛練習中なれば当夜の盛況が期待されている。なお両夜の浄財喜捨の中経費を除いた剰余金は全部恤兵金として献金することとなっている

「琉球盆踊開催／ワイアラエで」『日布時事』1938年8月10日6頁

当市ワイアラエ同志会では創立三周年記念として同会年中行事の一つたる琉球盆踊りを来る八月十三日（土）十四日（日）の両晩催すこととなった。場所は同志会会館敷地で一般男女の参加を歓迎すと

1939年

「『盆踊り』盛大」『日布時事』1939年8月21日6頁

来る八月二十六日、二十七日両夜午後七時より日系市民青年会主催にて盆踊りを盛大に挙行する。場所は昨年と同様に旧ベースボールグラウンドにて幾千人をも収容し得、自動車のパーキングも容易である。毎夜琉球踊り数種、岩国踊り、各種の流行踊りと云う豊富なプログラムにて定めし盛況を呈するならんと衆人に期待されている

「琉球盆踊ワイアラエにて」『日布時事』1939年8月24日7頁

ワイアラエ沖縄県人同志会の年中行事の一つたる琉球盆踊は来る八月二十六日(土)及び二十七日(日)の両晩七時半より同会館前の広場にて行われる事となった。なお特別プログラムとして優雅な手踊及び獐猛なる獅子を彷彿せしめる悪魔払いの琉球独特の獅子舞もあり、大喝采を博するであろう

「ワイアラエ沖縄県人盆踊り」『布哇報知』1939年8月26日10頁

ワイアラエ沖縄県人同志会は恒例の盆踊りを愈今明の両晩同会館前広場に於て催し盆踊り以外に琉球独特の舞踊及獅子舞等の催あるに付一般の来観を希望すること

1940年

「盆会と踊案内」『日布時事』1940年8月6日6頁

△八月十日十一日 プウネネ本願寺、各種音頭其他

△八月十日、十一日 パウイラ本願寺、音頭福島踊

△八月十七日、八日 下パイア臨濟宗、琉球盆踊

△八月十七、八日 プウネネ浄土宗、各種盆踊

なおプウネネ耕地で音頭競演会は八月二十四日、二十五日両夜、場所は同地野球場

「カネオへ東本願寺の盆会」『日布時事』1940年8月10日6頁

カネオへ布教所では本(サタデー)十一日(サンデー)両日盂蘭盆会法要を夜七時より勤修両晩共境内に於て岩国踊、琉球踊が催されるなお十一日サンデー午後四時よりカネオへ墓地展墓読経がある由なれば一般各位の参詣を望むと

「ぼん踊り」『日布時事』1940年8月13日8頁

来る八月十七、十八日両夜午後七時よりワイアナエ日系市民青年会主催で盆踊りが挙行される。場所は旧野球場の広々として草の上月もよし充分踊れるだろう。琉球音頭、岩国音頭及び数種の流行音頭に今年最初の瀬戸内海音頭、満蒙音頭等にて盛況を予想されている

注

- 1 比嘉武信編著『新聞に見るハワイの沖縄人90年—戦前編』若夏社、1990年、頁記載なし。
- 2 新聞史料の創刊年及び廃刊年、発行者、発行部数、紙名の変遷などについては次の資料を参照した。山下草園「ハワイ邦人言論機関発達史（下）」『新聞研究』24号、1953年、22～26頁。日本新聞博物館編『企画展「海外邦字紙」と日系人社会：図録』日本新聞博物館、2002年。
- 3 比嘉太郎編著『移民は生きる』日米時報社、1974年、275～276頁。
- 4 「ワイパフ」の誤りだとみられる。
- 5 「オニアワ」の誤りだとみられる。